

9 収入状況について（税込み）

(1) 給水収益等の収入状況

給水収益現年度分の収入率は、水道事業が98.1%、鶴形簡易水道事業が98.9%となっている。前年度と比較してみると、水道事業は0.1ポイント下回っているが、鶴形簡易水道事業は0.5ポイント上回っている。

水道事業の給水収益繰越分の未収入額は7,515,029円で、前年度より534,663円増加している。また、不納欠損処分後の調定額20,635,399円に対する収入率は63.6%で、前年度と比較すると2.9ポイント下回っている。ここ数年、繰越分の未収入額は減少してきていたが、当年度では増加に転じ700万円以上となっている。

鶴形簡易水道事業の給水収益繰越分の収入率は100.0%で、未収入額はない。

収入状況の内訳は、次のとおりである。

（単位：円、％）

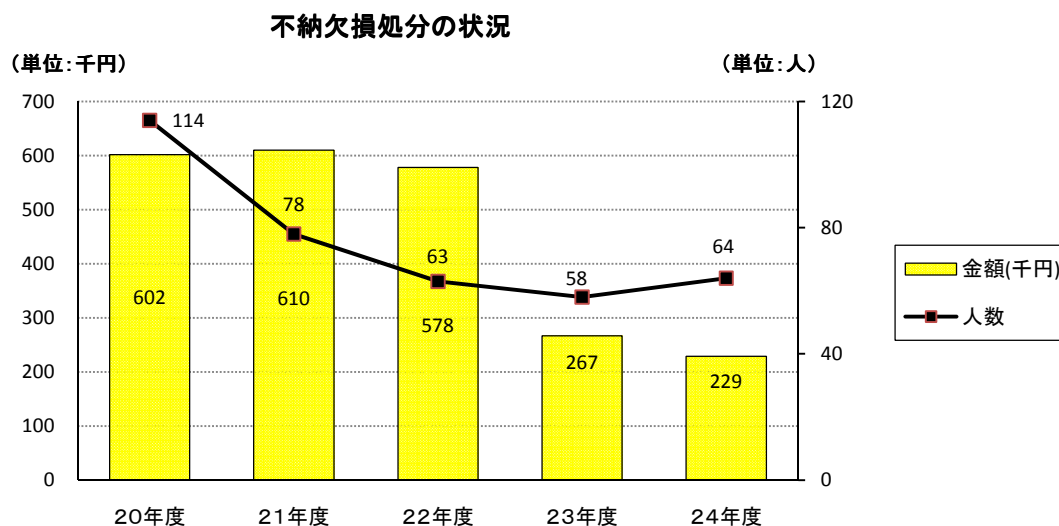
区 分			調定額	不納欠損額	差引調定額	収入額	未収入額	収入率
現 年 度 分	水 道 事 業	営 業 収 益	937,622,077	0	937,622,077	911,033,449	26,588,628	97.2
		給 水 収 益	898,301,103	0	898,301,103	881,015,199	17,285,904	98.1
		その他の営業収益	39,320,974	0	39,320,974	30,018,250	9,302,724	76.3
		営 業 外 収 益	1,979,084	0	1,979,084	1,508,329	470,755	76.2
		計	939,601,161	0	939,601,161	912,541,778	27,059,383	97.1
	鶴 形 簡 易 水 道 事 業	営 業 収 益	8,168,725	0	8,168,725	8,077,123	91,602	98.9
		給 水 収 益	8,163,725	0	8,163,725	8,072,123	91,602	98.9
		その他の営業収益	5,000	0	5,000	5,000	0	100.0
		営 業 外 収 益	1,024,986	0	1,024,986	516,680	508,306	50.4
		計	9,193,711	0	9,193,711	8,593,803	599,908	93.5
	小 計		948,794,872	0	948,794,872	921,135,581	27,659,291	97.1
繰 越 分	水 道 事 業	営 業 収 益	21,752,629	229,007	21,523,622	14,008,593	7,515,029	65.1
		給 水 収 益	20,864,406	229,007	20,635,399	13,120,370	7,515,029	63.6
		その他の営業収益	888,223	0	888,223	888,223	0	100.0
		計	21,752,629	229,007	21,523,622	14,008,593	7,515,029	65.1
	鶴 形 簡 易 水 道 事 業	営 業 収 益	112,755	0	112,755	112,755	0	100.0
		給 水 収 益	112,755	0	112,755	112,755	0	100.0
		計	112,755	0	112,755	112,755	0	100.0
	小 計		21,865,384	229,007	21,636,377	14,121,348	7,515,029	65.3
	合 計		970,660,256	229,007	970,431,249	935,256,929	35,174,320	96.4

(2) 不納欠損の状況

不納欠損処分額は229,007円で、前年度に比較して38,410円（14.4％）の減であり、いずれも水道事業分である。対象者は64人（うち法人2社）で、前年度に比較して6人の増となっている。

不納欠損の理由は、無届転居が54人、倒産2社、死亡8人となっている。

不納欠損の推移は、次のグラフのとおりである。



10 補てん財源について（税込み）

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額（差引決算額）378,926,541円は、損益勘定の現金支出を伴わない費用である減価償却費等や減債積立金等の内部留保資金で補てんされる。

補てん財源は、水道事業及び鶴形簡易水道事業ごとに管理され、内訳は次のとおりである。

（単位：円）

区 分		補てん財源額	補てん額	残 額
水道事業	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	4,562,845	4,562,845	0
	減 債 積 立 金	36,576,895	36,576,895	0
	過 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金	39,151,800	39,151,800	0
	当 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金	300,300,236	297,047,242	3,252,994
	減 価 償 却 費	298,673,072		
	資 産 減 耗 費	1,627,164		
	当 年 度 分 未 処 分 利 益 剰 余 金	208,446,068	0	208,446,068
計		589,037,844	377,338,782	211,699,062
鶴形簡易水道事業	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	13,000	13,000	0
	減 債 積 立 金	142,745	142,745	0
	過 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金	0	0	0
	当 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金	2,788,800	1,432,014	1,356,786
	減 価 償 却 費	2,788,800		
	資 産 減 耗 費	0		
	当 年 度 分 未 処 分 利 益 剰 余 金	5,613,253	0	5,613,253
計		8,557,798	1,587,759	6,970,039
合 計	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	4,575,845	4,575,845	0
	減 債 積 立 金	36,719,640	36,719,640	0
	過 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金	39,151,800	39,151,800	0
	当 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金	303,089,036	298,479,256	4,609,780
	減 価 償 却 費	301,461,872		
	資 産 減 耗 費	1,627,164		
	当 年 度 分 未 処 分 利 益 剰 余 金	214,059,321	0	214,059,321
計		597,595,642	378,926,541	218,669,101

上記の表にある補てん財源は、上から順に補てん財源として使用することになっており、当該年度で補てんに使用する額が補てん財源額を下回り、残った場合は翌年度に過年度分として使用することができるものである。本年度は、補てん財源額が597,595,642円に対し、資本的収支の不足額は378,926,541円であり、残り218,669,101円が翌年度へ繰り越されることになる。

11 予算議決事項について（税込み）

予算第6条企業債、第7条一時借入金、第9条議会の議決を経なければ流用することができない経費、第10条他会計からの補助金、第12条たな卸資産の購入限度額については、いずれも議決されたところに従って適正に執行されている。

（単位：円）

区 分	議 決 額	執 行 額	比 較 増 減
企 業 債	83,000,000	81,700,000	-1,300,000
一 時 借 入 金	170,000,000	0	-170,000,000
職 員 給 与 費	84,517,000	82,940,226	-1,576,774
交 際 費	10,000	0	-10,000
他 会 計 補 助 金	10,564,000	10,563,716	-284
た な 卸 資 産	8,543,000	8,495,017	-47,983